



森林由来クレジットの創出・販売



概要

○J-VER制度(現J-クレジット制度)により取得した森林由来クレジットを活用し、道内外の企業等に販売するほか、新たに道有林の一部において航空レーザ測量を活用したクレジットの創出に取り組み、ゼロカーボン北海道の実現に貢献します。

森林由来クレジットの販売

○道有林にある羊蹄山及び旭岳周辺の人工林約245haを間伐し、新たに吸収する二酸化炭素をクレジット化して企業等に販売。

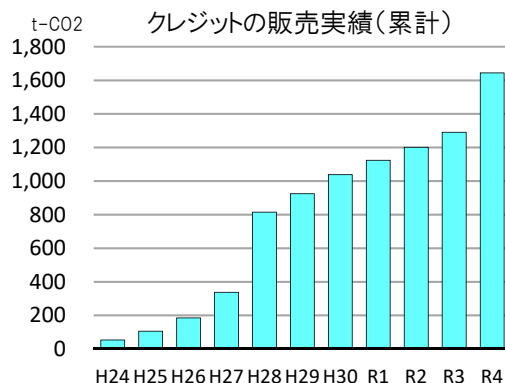
- ・認証年月日:平成24年3月26日
- ・認証量:4,362t-CO₂



羊蹄山



旭岳(大雪山)



○道有林オフセット・クレジットは、原則、道内市町が発行する森林由来クレジットとセット販売。

- ・連携して販売している15市町
足寄町、下川町、滝上町、美幌町、紋別市、標津町、広尾町、士幌町、津別町、上士幌町、南富良野町、石狩市、浦河町、中標津町、北見市

- ・令和4年度末販売実績(累積)
道クレジット :1,644t-CO₂
市町クレジット:1,429t-CO₂

クレジットの販売事例

- ・令和5年度に、生活協同組合コープさっぽろ、サッポロビール(株)等9社が、道有林のクレジットを活用した「北海道の森に海に乾杯！」共同キャンペーン第11弾を実施。

- ・ビール等の対象商品を購入した消費者が自ら排出するCO₂をオフセットする取組。



共同キャンペーン対象商品

新たな森林由来クレジットの創出

○航空レーザを活用した調査が認められるなど、国のJ-クレジット制度が改正されたことに伴い、民間企業と連携し、新たに道有林の一部において航空レーザ測量を活用したクレジットの創出を試行的かつ先導的に実施し、そのノウハウを道内市町村等へ普及。

(1)事業期間

令和5年度～令和12年度までの8年間

(2)事業規模

上川北部及び網走西部管理区のうち、1990年以降に森林整備を行っている人工林約2万6千haを対象とし、約58万t-CO₂(見込み)のクレジットを創出。

(3)連携企業

令和5年1月に三井物産株式会社と協定を締結

(4)事業スケジュール

年度	R4	R5	R6
道	11月～ 公募	1月 協定締結	11月～ プロジェクト登録
企業等		6月～ 航空レーザ測量	クレジット 認証・発行
			クレジット の販売
			クレジット の販売